港湾振興便り

2021．8
第171号

＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：

目　　次

＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：＊：

１　ポートエッセイ　　―宇宙旅行へ　―
～　日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　中原　八一　～

２　トピック

●北海道・増毛港において、屋根付き岸壁の供用式典を開催しました！
（北海道開発局　港湾空港部　港湾計画課）

●「第１回横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（ＣＮＰ）形成推進会議」を開催
（関東地方整備局　港湾空港部）

●児童生徒を対象にした「出前講座」、「港の見学会」が開催されました！
（北陸地方整備局　敦賀港湾事務所）

●伏木富山港新湊地区でヨット建造を支援する「Salt & Light サポートクラブ」が発足
（北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所）

●「清水港湾事務所　１００年のあゆみ」パネル展示を行いました！
（中部地方整備局　清水港湾事務所）

●「みなとオアシス浜名湖」が新規登録されました！
（中部地方整備局　港湾空港部）

３　お知らせ

◇イベント名：「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりに係る基本合意書」の締結について

◇イベント名：浚渫兼油回収船「清龍丸」御前崎港で特別公開の開催

◇イベント名：水陸両用バス「KABA BUS」御前崎港運行

◇イベント名：「オンライン神戸港ボート天国」開催

＊：

１　ポートエッセイ　―　宇宙旅行へ　―

～　日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　中原　八一　～

＊：

先月、IT大手アマゾンの創業者ジェフ・ベゾス氏が、自ら設立したブルーオリジンという宇宙開発企業の有人宇宙船「ニュー・シェパード」に搭乗して宇宙旅行の実現を果たした。

僅か10分余りの旅行であったかもしれないが、一般人が宇通を体験した意義は大変大きいものであるといえる。

この度の飛行は、高度100キロメートル（国際的には、ここから宇宙と言うらしい）まで上昇し、3分間の無重力を体験しての帰還である。

また、4名の内、女性のウォーリー・ファンクさんは、82歳でこれまでの宇宙飛行経験者の中で最年長となり、18歳の男性オリバー・ディーメンさんは、逆に最年少の宇宙飛行経験者となった。

しかも、彼は初めてのチケット購入による搭乗でもあることから、初めての宇宙観光を行った人ともいえる。

宇宙旅行のチケット代金は、遥かに桁違いであり、私たちにとっては、まだまだ、身近なものではなく夢物語のようなものだが、このたびのブルーオリジンの宇宙船のように、AIが制御する完全自動が実現したことやこれまでの宇宙飛行士のような特別な訓練もほとんどなく18歳から82歳までの幅広い年齢層が容易に宇宙旅行を体験したことは、私たちにとってほんの少しだが現実味のあるものになってきたようだ。

今後、一般の人たちが宇宙に飛び立つ機会が多くなること期待される。

国家プロジェクトとして始まった宇宙開発が、半導体の高性能化やハードウェアの小型化で打ち上げ費用の低コスト化が進んでいる現在、まだまだ多額の開発資金や打ち上げ費用を要するにも拘らず、民間資本が投じられているなかでの、宇宙開発はビジネスの対象と捉えられている表れである。

既に、人工衛星による位置情報や通信、放送、気候観測などのシステムの恩恵は私たちの日常生活に溶け込んでおり、無意識のうちに活用されているが、更なる技術開発が進むなかで多くの分野で活用できるものが出てくるのではないか。

例えば、リアルタイムでの映像が配信できるようになることで、大規模災害や人命救助が現地へ行くまでに情報の入手が可能となる。

また、製造業が宇宙進出に転じる時期が来ることもかんがえられる。また、宇宙旅行のチラシが新聞折り込みに入っているようなことがあるかもしれない。

我が国には、宇宙開発利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民生活の向上及び経済社会の発展、世界の平和及び人類の福祉の向上に貢献することを目的とする「宇宙基本法」がある。

是非、宇宙に向けた技術開発に取り組むすべてのものが平和利用であって欲しいと願っている。

＊：

2 トピック

＊：

●北海道・増毛港において、屋根付き岸壁の供用式典を開催しました！

（北海道開発局　港湾空港部　港湾計画課）

7月17日（土）、北海道日本海側に位置する増毛港において、サケ、ナマコの輸出促進を目的とした屋根付き岸壁の供用式典を開催(共催：増毛町)し、関係者約50人が供用を祝いました。

増毛港屋根付き岸壁は、増毛港を含む道内の6港湾管理者が策定した農水産物輸出促進計画（平成29年5月国土交通省港湾局長認定）に基づき、整備したものです。

今般完成した屋根付き岸壁により、サケやナマコの鮮度・品質の向上が図られるほか、増毛町および漁業従事者による前向きな衛生管理の取組と合わせて、水産物の商品価値を高めることができ、さらなる輸出促進が期待されます。

テープカット時の様子

式　　辞

●「第１回横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（ＣＮＰ）形成推進会議」を開催

（関東地方整備局　港湾空港部）

７月１５日（木）に「第１回横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議」を開催しました。

国土交通省では、水素、アンモニア等の次世代エネルギー利活用の需要と供給体制を一体的に創出するとともに、港湾機能の高度化や臨海部における環境に配慮した産業の集積を図るCNP形成に向けて、昨年度に全国のコンテナ・バルクターミナルのうち多様な産業が集積する横浜港・川崎港など６地域７港湾を対象として、CNP検討会を実施し、令和３年４月２日に検討結果を公表しています。

本会議は、脱炭素化への動きが官民において加速化していることを受けて、横浜港・川崎港において、CNP形成に向けた具体的な取組の検討を深化させることを目的に、立ち上げました。

今回開催された会議では、CNPに関する最近の動向や、各ワーキンググループの検討事項等について議論が行われ、「モビリティWG」、「燃料サプライチェーンWG」、「新産業WG」を設置することとなりました。

今後、各WGにおいて、推進会議構成員の他、各テーマに応じた関係者（民間事業者）にもご参画いただき、具体的な取組について検討を行います。詳しくは、下記関東地方整備局港湾空港部HPをご覧ください。

https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/cnp_kaigi/cnp_kaigi.html

会　議　の　様　子

●児童生徒を対象にした「出前講座」、「港の見学会」が開催されました！

（北陸地方整備局　敦賀港湾事務所）

くらしをささえる港の役割、港に入るいろいろな船を学ぶことを目的に福井市殿下小中学校の児童生徒（小２～中３）を対象にした「出前講座」を７月５日（月）に、「港の見学会」を７月１４日（水）に開催しました。

「出前講座」ではDVDや図・写真、クイズを用いてわかりやすく説明を行いました。

「港の見学会」では、国際物流ターミナル、新港地区のバス見学を行い、最後の見学会会場となった新日本海フェリーターミナルでは昔の敦賀港の絵や写真を用いて、敦賀港の防波堤と岸壁が順に整備される様子や、いかに発展を遂げたのかを解説し、現在の敦賀港を一望しながら理解を深めました。

児童生徒からは「防波堤を境に海の見え方が違うのはなぜか」「あの（入港している）船は何を運んでいるのか」といった質問や、「実際港に来てみるとたくさん発見があった」「出前講座で習ったことを踏まえ、敦賀港の歴史を知ることができてよかった」という感想がありました。

今後もたくさんの児童生徒に港への興味をもっていただけるよう取り組んでまいります。

出前講座の様子

港の見学会の様子

●伏木富山港新湊地区でヨット建造を支援する「Salt & Light サポートクラブ」が発足

（北陸地方整備局　伏木富山港湾事務所）

伏木富山港新湊地区（富山県射水市）で大型ヨット建造している豪州出身で富山県在住のケビン・モクシーさんを支援する「Salt & Light サポートクラブ」の発足式が7月23日（金）に建造場所の艇庫内で開催されました。

ケビンさんは、2020年に奥様の出身の富山へ移住し、美しい富山湾の魅力を活かす取組としてヨット建造に挑戦することとしました。この挑戦の相談を受けた富山県セーリング連盟の高桑幸一理事長は、地域においてサポートする組織を結成し、今回この発足式を開催しました。式には四方正治連名会長、八嶋浩久連盟顧問、新田八朗富山県知事、牧田和樹射水商工会議所会頭らが出席し、富山湾やヨットの魅力を発信し、市民・県民、更には豪州との交流に繋がるよう期待しました。

ヨットは47フィート双胴型で2024年に完成、富山湾で多くの方々とクルージングによる交流を行った後、2026年に豪州に向け出航する計画となっています。

同クラブは連盟の八嶋顧問が会長に就き、広報・活動資金を募っており、資金協力を頂いた方へは同船での富山湾クルージング等の返礼が用意されています。また、艇庫での建造協力も募集しています。

建造計画を説明するｹﾋﾞﾝ･ﾓｸｼｰさん

＜Salt & Lightサポートクラブ協力への問合せ先＞
高桑幸一　e-mail: koichi@takakuwa.info

●「清水港湾事務所　１００年のあゆみ」パネル展示を行いました！

（中部地方整備局　清水港湾事務所）

清水港湾事務所は、1921年（大正10年）に、内務省横浜土木出張所清水港修築事務所として開設され、本年、100周年を迎えました。

この節目に、100年間で事務所が手がけてきた清水港・御前崎港・田子の浦港・下田港の主要プロジェクトや現在実施中のプロジェクトについて、工事の施工状況や施設の利用状況等をパネルにまとめ、静岡市東部勤労者福祉センター（清水テルサ）、御前崎市役所、牧之原市役所において8月末まで展示しています。

これまでお支え頂いた地域の皆様や港湾関係者の皆様に感謝するとともに、次の100年に向けて、引き続き、事務所職員一同、静岡のみなとづくりに鋭意取り組んで参ります。

なお、清水港湾事務所庁舎（静岡市清水区日の出町7-2）において、当面の間、パネルを展示しますので、お近くにお越しの際はぜひ足を運んで頂ければ幸いです。

清水港湾事務所におけるパネル展の様子

牧之原市役所におけるパネル展の様子

●「みなとオアシス浜名湖」が新規登録されました！

（中部地方整備局　港湾空港部）

令和3年7月10 日、「みなとオアシス浜名湖」（静岡県湖西市）として、浜名港が全国149箇所目のみなとオアシスとして登録されました。今回の登録で中部管内では11 箇所目、静岡県内では6箇所目の「みなとオアシス」となります。

浜名港は、浜名湖の湖岸が織り成す優れた景観や静穏な水面を有し、港湾緑地やプレジャーボート等の係留施設等が整備され、海洋レクリエーションを楽しむ人で賑わっています。

また、約500mの砂浜は全国的にも珍しい湖の海水浴場として人気を集めており、他にも「みなと」を舞台とした様々なイベント（浜名湖ミナトリング、浜名湖スポーツフィッシングフェスタ等）を開催しています。

代表施設の「海湖館」は、うなぎつかみ体験や貝や流木等を使ったクラフト体験、さらにはレンタサイクルやバーベキューなど、年間を通じて楽しめる体験型学習施設です。

「新居関所」は、江戸幕府により設置された関所の中で、当時の建築物が全国で唯一現存する特別史跡で、歴史的価値の高い観光スポットとなっています。

「みなとオアシス浜名湖」の構成施設等においては、「海の湖」浜名湖の豊かな自然環境と水産資源を生かした地域振興の取組が継続的に行われており、今回の登録を契機に、更なる地域振興の推進が期待されます。

代表施設「海湖館」

うなぎつかみ体験

浜名湖ミナトリング

新居関所（大御門）

＊：

３　お知らせ（みなとのイベント情報）

＊：

◇イベント名：「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりに係る基本合意書」の締結について

【開催日時】令和3年7月14日

【場　　所】静岡市役所　静岡庁舎

【概　　要】静岡市とENEOS株式会社は「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりに係る基本合意書」を令和3年7月19日に締結しました。
静岡市及びENEOSが相互に連携し、ENEOSの所有する清水製油所跡地を中心に次世代型エネルギー供給プラットフォームを構築するとともに、「まち」と「みなと」が一体となった魅力的かつ持続可能な地域づくりを進めることを目的としています。

【問合せ先】静岡市海洋文化都市政策課　企画係　今川、古厩　TEL054-354-2344

【U　R　L】https://www.city.shizuoka.lg.jp/000902759.pdf

◇イベント名：浚渫兼油回収船「清龍丸」御前崎港で特別公開の開催

【開催日時】 令和3年9月4日(土)10時～16時

【場　　所】 御前崎港中央ふ頭

【概　　要】 中央ふ頭に接岸している岸壁上に船長服や船長制帽の試着、国土交通省の役割などの紹介パンフ、パネルの展示を行います。

【問合せ先】 御前崎港開港５０周年記念事業実行委員会事務局（御前崎市建設経済部商工観光課企業港湾室）
〒437-1692　御前崎市池新田5585番地
TEL：0537-85-1164、FAX：0537-85-1156
e-mail:kigyo@city.omaezaki.shizuoka.jp

【U　R　L】
御前崎市役所HPリンク先
https://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/soshiki/shokokanko/kowan/7183.html

浚渫兼油回収船「清龍丸」

◇イベント名：水陸両用バス「KABA BUS」御前崎港運行
【開催日時】 令和3年9月11日(土)、12日(日)※詳細運行時間は以下URLからご参照ください
【場　　所】 御前崎市観光物産会館「なぶら館」、御前崎港
【概　　要】 水陸両用バス「ＫＡＢＡ　ＢＵＳ」に乗って、御前崎港を巡るイベントを９月１１日(土)、１２日(日)に行います。
【問合せ先】 御前崎港開港５０周年記念事業実行委員会事務局（御前崎市建設経済部商工観光課企業港湾室）
〒437-1692　御前崎市池新田5585番地
TEL：0537-85-1164、FAX：0537-85-1156
e-mail:kigyo@city.omaezaki.shizuoka.jp
【U　R　L】
御前崎市役所HPリンク先
https://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/soshiki/shokokanko/kowan/7183.html

水陸両用バス「ＫＡＢＡ　ＢＵＳ」

◇イベント名：「オンライン神戸港ボート天国」開催
【開催日時】令和3年7月22日～8月31日
【概　　要】神戸港ボート天国は、都心部に近い水域で、市民に海洋レジャーを気軽に楽しんでいただける場所を提供することにより、港や海・船への親しみを深めていただき、海洋性スポーツの振興と海事思想の普及、さらには海難事故の防止にも寄与することを目的として平成2年より開催しています。
これまでは、神戸港で働く官公庁船艇などが神戸港に一堂に会し、一般公開や体験航海を実施していましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け中止といたしました。
第37回目を数える今年は、密にならずお家でも楽しめる形として、航海シーンや船内の様子、作業風景などのオリジナル動画を制作し、海の日にあたる7月22日（木曜・祝日）より専用ホームページにて順次配信しています。
【問合せ先】（一財）神戸観光局 港湾振興部 振興課 078-327-8982
【U　R　L】神戸観光局港湾振興部ホームページ http://www.kobe-meriken.or.jp/ にアクセスして、「ニュース／トピックス」の「2021.07.22　オンライン　神戸港ボート天国」をクリック下さい。

＊：＊：＊：　本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先　：＊：＊：＊＊：＊：＊：
日本港湾振興団体連合会事務局
〒105-0002　港区愛宕1-3-4
TEL：03-5776-0630、FAX：03-5776-0631
e-mail：bcf06323@nifty.com
＊：＊